

「勤労留学」を控え、社会人としての基本を学びました。 2年 マナー教室 1月12日(金)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回は、2年生向けの「マナー教室」を実施しました。2年生は、2月5日(月)からの一週間、「勤労留学」として、事業所での職場体験などを実施します。その際、仕事場において社会人としてふさわしい立ち居振る舞いが大切になります。そこで、NPO法人 マナー教育サポート協会にご協力いただき、「マナー教室」を実施しました。



1月12日(金)5校時、体育館アリーナを会場に、お辞儀・挨拶の基本の動作、ビジネス・マナーの考え方など、マナーについての基礎講座とともに実際にお辞儀・挨拶の練習をしました。日頃、慣れていない動きで戸惑っていましたが、とても分かりやすくご説明いただき、みんな積極的に取り組んでいました。ぜひ、これからはじまる校外学習(職場訪問)に役立ててください。



こうした社会人としてのマナー・立ち居振る舞いは、「勤労留学」だけでなく、高校入試や社会生活でも使う、いわば社会の一員としての基礎・基本です。ですから、“知っている”だけでなく、自然と使えるようになりたいものです。そのためには、実際にやってみることが大切です。講師の松本先生も次のようなお話をされていました。

・挨拶は、まず自分から。

・でも、それには勇気がいる。だから、自分でスイッチを入れる気持ちで。

・そして、それを毎日続けていくことが大切。

学校生活の中でも、朝の学活、職員室への出入り、先生との会話など、お辞儀や挨拶を使う場面は毎日あります。この機会に、実際に使っていくことで、自分自身のものにしてほしいと思います。